2025 年度

SGT　活動レポート

陶芸講座
第 1 回

7 月 2 日（水）、中高選択者による陶芸講座が 4 階技術家庭科室を会場に始まりました。静岡市内で「陶芸りんご工房」を営んでいらっしゃる今井林檎先生を講師にお迎えして全4回の講座です。参加者は中学生 4 名、高校生 6 名の計 10 名です。

講座の開始にあたり、今井先生からの諸注意がありました。「陶芸作品を作る工程より大切なことは、あいさつ、したく片付けと、集中すること」であり、「お願いします」「ありがとうございました」を必ず言うこと、一人一人が道具はもちろん、机、ぞうきんも、必ずきれいにすること、私語は絶対にしないで、作品に集中して向き合うことができなければ、よい作品を作ることなどを、熱く語ってくださいました。次に今日の行程について説明がありました。本年度も花瓶づくりに取り組みます。少し重みのあるろくろの持ち方に至るまで、きめ細やかな指導をしてくださいました。

いよいよ、作品作りに取りかかります。まずガラスの瓶の胴に布を巻き付けます。この時に瓶の底の部分から 1 センチ上のところから布を巻きます。次に筒状にした粘土を正方形の板状にした粘土を型紙に合わせて余分な部分を切り取ります。次に布を巻いた瓶を正方形の粘土の板の上に押し付け、底の部分の形を確認し、先端のとがった千枚通しのような道具を使い、円周に沿って切り出します。この時に円周よりも少し大きめに切り出しますのがコツです。ここまでできたら筒状にした粘土の底に底の部分を取り付けます。上手く底面とくっつくように筒状にした粘土の接着部分に千枚通しのようなとがった道具で斜めに線を書き、筋をいれます。次に筒状になった粘土から瓶を慎重に抜きき、余った粘土やろくろやその他の道具を片付けます。最後に次回花瓶に付ける装飾のデザインを考え、紙に書き出します。簡単な色付けもできるため色鉛筆を使い、きれいにデザインした生徒もいました。中学生のなかには中学 2 年生の時に陶芸を経験している生徒もいますが、花瓶の制作は初めてでとても楽しみにしています。

次回第 2 回は、7 月 23 日です。筒状にした花瓶の加工と装飾の制作・取り付けです。

陶芸に向かう基本姿勢について最初にお話下さいました。

先生の模範を食い入るように見ています。あっという間に形ができて驚きでした。

底の部分の切り取り方法について説明されています。

瓶に巻き付ける前に型紙に合わせて長方形の線を引きま

中学 3 年生の 2 人は多少慣れているようです。

筒状に粘土を巻いていきます。

底の部分を付けていきます。

今井先生からデザインについてアドバイスをいただきました。

高校生はなかなか面白いデザインを描いています。

本日の作品です。次回は装飾をします。